

第3学年 道徳科学習指導案

作成者：杉本 遼

1. 主題名 北斎は、富嶽三十六景にどんな思いを込めたか。(全1時間)

2. 教材名 「富士と北斎」(わたしたちの道徳 3・4年)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

【感動、畏敬の念】

内容項目D-21〔第3学年及び第4学年〕「美しいものや気高いものに感動する心をもつこと」に基づいて指導するものである。日々、科学技術の進歩は目覚ましい社会の中で、人間の力では到底説明することのできない美への感動や、崇高なものに対する尊敬や畏敬の念をもち、人間としての在り方を見つめなおすことが求められる。自然が織りなす美しい風景や人の心の奥深さ、清らかさなど崇高なものに触れて素直に感動する気持ちなどを、児童の心の中に一層育てることが大切である。中学年の段階においては、美しいものや気高いものに意識的に触れようとする態度を育てたい。

(2) 本時の教材について

① 教科から見た特性

本教材は、児童が富士山のもつ自然の美しさやその富士山に魅了され描き続けた北斎の心の美しさ、日本のよさなどを感じ取る心をもっている自分に気づき、素直に感動する心を大切にし、さらに高めていく心情・態度などの道徳性を養っていくことができるよう指導に当たる。

② 汎用的スキルや態度・価値育成の観点から見た特性

北斎が、富士山をすぐに描かなかったことや富士山を描き続けたことに、児童は疑問を感じるであろう。児童の受け止めから「北斎は、富嶽三十六景にどんな思いを込めたのか。」とテーマを設定し、対話の中での問題解決を促す。北斎の思いを話し合う中で、児童相互に考え方のずれが生じ、多面的・多角的な視点で考えを深めていくことができる。富士を愛した北斎の行動の意味を考えていくことで、児童は、自然や国、伝統文化を大切にしようと思う心を育てていくことができるであろう。

4. 本主題で育む資質・能力とそれを育成する主な手立て

学習場面	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
・「富嶽三十六景」や富士山の写真を見て、感じたことを話し合う。 ・「富士と北斎」を視聴し、心に残ったことや不思議に思ったことを話し合い本時のテーマを設定する。	○問題解決力	○教材への関心を高めることができるように、教材に関わる「富嶽三十六景」や富士山の写真を見る時間を十分にとる。 ○学習テーマに対しみんなで話し合っていきたいという思いをもつことができるように、児童の教材の率直な受け止めから学習テーマを設定する。
・北斎は、富嶽三十六景にどんな思いを込めたかを考える。	○批判的思考力	○多様な視点から考える必要のあるテーマを設定する。 ○児童の考え方のずれを明確にして板書し、問い返す。
・自然の美しさや日本のよさ、北斎の生き方を感じ取る心と自己とのつながりを考える。	○愛する心 ○メタ認知力	○自然の美しさや日本のよさ、北斎の生き方について、自分の気づきや考えを明確にし、学習したことと自分とをつなげて考えることができるように、書く活動を設定する。 ○自己評価カードを活用した自分を評価することを通して、自分が考えていることを感じ取り学びをよりよくする力を伸ばしていく。

5. 本時のねらい

(1) 道徳科としての目標

- ・自然の美しさや日本のよさ、北斎の生き方のよさを感じ取る心が自分にもあることに気づき、この心を大切にしようとする心情や態度などの道徳性を養う。

(2) 汎用的なスキル

- ・教材からみんなで話し合っていきたい疑問や不思議を発見する。(問題解決力)
- ・自分とは違う他の見方や考え方に触れ、テーマに対し多様な視点で考える。(批判的思考力)
- ・話し合いを振り返り、自分が考えていることや感じていることを明らかにする。(メタ認知)

(3) 態度・価値

・自然の美しさや日本のよさ、北斎の生き方を感じ取る心と自己とのつながりを考える。(愛する心)

6. 本時の展開

学習活動 ○主な発問 ・児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て
<p>1 富士山の写真を見て、感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一、高い山。きれい。 ・富士山は、日本にしかないもの。 ・富士山は、日本のシンボル。 	<p>◇「富岳三十六景」や富士山の写真を見せて置き、教材への導入を図る。(問題解決力：事前知識をもたせる)</p>
<p>2 「富士と北斎」を視聴し、話し合う。</p> <p>○心に残ったことや不思議に思ったことは、何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山とぴったりと重なるとはどういうことか。 ・富士山をすぐに描かなかったのは、なぜ。 ・富士山を描くとき、北斎は何を考えていたか。 	<p>◇児童の、教材の受け止めから本時のテーマを設定する。(問題解決力：解決したいという場の設定)</p>
<p>北斎は、富嶽三十六景にどんな思いを込めたか。</p>	
<p>○北斎が再度、江戸を出て富士山を見たとき、どんなことを思ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山についてもっと考えたい。 ・富士山を色々な所から見たい。 ・なんで、富士山のまわりに風景を描いたのか。 <p>◎北斎は、富嶽三十六景にどんな思いを込めたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの風景があるから、富士山が引き立つ。 ・富士山が好きだから、色々な富士山を描く。 ・みんなに伝えたいという思いが強かった。 ・富士山は日本の様々な所から見てもすてき。 ・なんで、富士山を小さく描いた絵があるの？ ・自分の納得のいく富士を描きたい。 ・富士山は普段の生活にある。 ・私の日常にも富士山があって、すごいと思う。 	<p>◇北斎への共感をもとに話し合うことができるように、共感的な発問を取り入れる。(多様な視点から考える必要のあるテーマの設定：批判的思考力)</p> <p>◇「富士山が好き」と「富士山だけ描くとつまらない」や「20年間描かなかった」との考え方のずれや「なぜ、富士山を小さく描いた絵があるの？」という児童の質問を板書し、問い返す。(板書を可視化ツールとして用いる：批判的思考力)</p> <p>◇考えを広め、自分の考えをもつことができるようにペアトークを取り入れた。(試行錯誤が可能な場の設定：批判的思考力)</p>
<p>3 自然の美しさや日本のよさ、北斎の生き方を感じ取る心と自己とのつながりを考える。</p> <p>○今日の学習を通して、どんなことを考えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山の美しさに感動した。富士山が身近にある日本は、すてきなところだ。 ・日本にはたくさんの魅力がある。 ・「富嶽三十六景」の美しさに感動した。富士山を愛し、描き続けた北斎はすごい人だ。 <p>4 自分の学びを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えとは違う友達の考えを聴いて、自分の考えが広がった。 ・テーマに対する考えが深まった。 ・自分が大切にしていきたいことが見つかった。 	<p>◇自分の生き方への考えを深めることができるように学習したことと自分とをつなげて書く活動を設定する。(自分の考えを書く活動の設定：愛する心)</p> <p>◇自己評価カードを活用した自分を評価することを通して、自分が考えていることを感じ取り学びをよりよくする力を伸ばしていく。(自己評価カードの用意：メタ認知)</p>

(3) 評価

- ・北斎が富士山に魅了された理由を考え、自分にある自然の美しさや日本のよさ、美しい人の生き方を感じ取る心に気付くことができたか。
- ・自然の美しさや日本のよさ、美しい人の生き方を感じ取る心を大切にしていこうとする心情や態度など道徳性を育てることができたか。